

就学時健診を考える府中市民の会 学習会

使われる!? 子どもの健診情報



子どもの健康のために受けている乳幼児健康診断（1歳半健診、3歳児健診、その他）の情報を、「利活用」しようという動きが具体化しています。

厚生労働省は乳幼児健診の情報を就学時健診など学校に引き継ぐために、「データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会」を設置しました。就学時健診は、就学義務の猶予・免除や特別支援学校への就学指導などの措置も目的とした健診で、乳幼児健診の情報を利用することは目的外利用です。

2018年7月の厚労省検討会の中間報告書では、現在はバラバラな様式で記録されている乳幼児健診情報の「標準的な電子的記録様式」を定めマイナンバーで管理して利活用しやすくするとともに、その中で「最低限電子化すべき情報」として、受診の有無や異常所見などをマイナンバー制度の情報提供ネットワークシステムにより本人同意なしで提供するとしています。

この報告により2019年5月に母子保健法が改正され、市町村間で健診情報を引き継ぐシステムを今年7月から開始予定です。就学時健診などへの引き継ぎは、昨年10月に文部科学省が「データ時代における学校健康診断情報の利活用検討会」を設置し、今年6月までに乳幼児健診情報との接続による効果的な利活用の方策などを検討することにしています。

データヘルスとして国は、医療・健診等の情報を生涯管理して、新たな医療・ヘルスケア産業の育成や、健康づくりへの「行動変容」などに利用する計画です。乳幼児健診の情報提供やマイナンバーカードの保険証利用は、その一環です。

子どもの健診情報の利活用のモデル自治体である前橋市では、2018年4月に全児童生徒2万5千人余の個人情報不正アクセスで漏えいする事件が起きています。健診情報の利用の現状を学び、その問題点を考えます。

日時:2020年3月28日(土)PM6~8時

会場:府中市市民活動センタープラッツ第1会議室B

(京王線府中駅南口すぐ ル・シーニュ6階)

講師:原田 富弘(共通番号いらないネット)

資料代:300円

共催:就学時健診を考える府中市民の会・NPOいっぽ

連絡先:郡司(090-1431-1607)

★新型コロナウイルスへの対応

- ・府中市市民活動センタープラッツは、3月1日~3月31日まで一部施設が利用を一時休止しています。
- ・会議室は利用可能で学習会は行う予定ですが、今後の状況によっては、中止になる可能性があります。
- ・当日の資料等の希望者には、連絡いただければ後日郵送などで提供する予定ですので、参加は各自必要な対策をおとりいただき判断されるようお願いいたします。



厚生労働省資料

子ども時代に受ける健診、予防接種等の個人の健康情報を一元的に確認し
引っ越しや子どもの成長にあわせて記録を転居先や進学先へ引き継げるようにするサービス

【このサービスで目指すこと】

- 子ども時代に受ける健診、予防接種等の個人の健康情報歴を一元的に確認できる仕組みの構築
- 個人情報に配慮しつつ関係機関間での適切な健診情報の引き継ぎ
- ビッグ・データとして活用

【2020年度に実現できること】

- 乳幼児健診の受診の有無等の電子化した情報について、転居時に市町村間で引き継がれる仕組みを構築する。
- マイナポータルを活用し、子ども時代に受ける健診、妊婦健診、予防接種等の個人の健康情報歴を一元的に確認できる仕組みを構築する。

